

指定管理者自己評価結果

【評価対象年度】 平成30年度

1 総則

指定管理者	公益財団法人守口市スポーツ振興事業団
事業期間	平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日
管理体制	正規職員(常勤) 4名 嘱託職員(常勤) 2名 臨時職員(非常勤) 8名 警備員 (外部委託)1名 清掃員 (外部委託)3名 フィットネスルームトレーナー(外部委託)1名
職員の勤務状況	守口市民体育館職員配置計画に基づき正規職員はシフト制により1日2交代で勤務、臨時職員は必要時のみ短時間勤務。 参考資料①(7ページ)「職員配置計画」参照

2 施設のサービス水準

(1) 事業達成度の分析・評価

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
運営業務	開館日・時間	開館日	条例・協定に基づき適正に処理。	条例・協定に基づき適正に処理した。
		休館日(毎月第1・第3水曜日)及び年末年始(12/29～1/3)を除く日		
		開館時間 午前9時～午後9時		
	受付・案内	適切な受付・案内業務の実施	業務に精通した職員配置により適正に対応。	利用者・来館者と良好な関係を築いている。
	料金設定	体育館条例第7条、第13条、体育館条例施行規則第5条、第8条によるものとする	条例・協定に基づき適正に処理。	条例・協定に基づき適正に処理した。
	広報・宣伝	①チラシ等の作成、配布 ②類似公共施設とのPR協力 ③ホームページの維持管理、作成業務	チラシ、ポスター等の作成、配布及びホームページを整備し、行事案内、貸館情報を積極的に発信するだけでなく、広くスポーツ活動への参加を呼びかけた。	当初予定事項を的確に実施するだけでなく、守口市民体育館館内ガイドの配布やSNS(フェイスブック、ツイッター)により、更なる体育館周知やスポーツに関する情報の発信に努めた。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
施設維持管理業務	清掃・保守点検	(1)施設維持保全業務 (2)設備、施設の保守点検・管理業務	守口市民体育館保守点検実施状況報告書により適正に実施、加えて職員による樹木の剪定作業等経費の削減に努めた。 参考資料②(8ページ) 「施設の維持管理業務」参照	適切な清掃・保守点検業務を遂行し、大きなトラブルや苦情等は特に無かった。
	修繕	守口市が承認した予算経常経費400万円の範囲内で実施する	平成30年度指定管理費修繕費執行状況のとおり。 参考資料③(9ページ) 「修繕料精算内訳」参照	施設・備品の軽微な修理・修繕は可能な限り職員において行い、専門的なものは予算内で適正に処理した。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
施設利用等許可業務	利用者数	サービスの向上を図り、利用者の増加に努める	平成30年度利用者 140,792人 参考資料④(10ページ)「守口市民体育館利用状況表」参照	大阪府北部地震や度重なる台風により、休館・休室を余儀なくされ、利用者数は前年度を3万人近く下回った。
	利用料金	体育館条例第7条、第13条、体育館条例施行規則第5条、第8条によるものとする 平成30年度当初予算額 28,000,000円	平成30年度利用料金決算額 26,916,413円 6ページ収支状況参照	大阪府北部地震や度重なる台風により、休館・休室を余儀なくされ、大幅な減収となった。
	利用率	サービスの向上を図り、利用率の増加に努める	大体育室68% 小体育室85% 武道室81% 多目的室86% 会議室19% 参考資料④(10ページ)「守口市民体育館利用状況表」参照	大阪府北部地震や度重なる台風により、休館・休室を余儀なくされ、特に大体育室は前年度を22%下回った。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業	平成30年度事業報告書のとおり 参考資料⑤(11～14ページ)「平成30年度事業報告書」参照	創意工夫での事業実施	市民ニーズに応えるべく、幼児から高齢者までを対象としたスポーツ教室、講習会、大会などバラエティーにとんだ自主事業を展開し、市民のスポーツ振興に供した。 平成30年度自主事業のべ参加者12,081人	大阪府北部地震や度重なる台風により、休館・休室を余儀なくされ、当初計画に対して減員、減収となった。HPやSNSによるPR、ダイレクトメールの発送や電話勧誘等で回復を図ったが、至らなかった。しかし要介護にならないための特別レッスンやフィットネスルームにおいても無料で実施しているサービスプログラムは参加者から高評価を得た。主催大会においてはジュニアフットサル大会を土日の2日間で開催し、成功裏に終了した。加えて花見を楽しみながらのウォーキングを実施、グループの育成を図った。
		事業実施財源の確保	市民が参加しやすいよう、できるだけ安価な料金価格を設定しつつ、実施財源の確保に努めたが、大阪府北部地震や度重なる台風により、休館・休室を余儀なくされ、大幅な減収となった。 平成30年度体育館事業収入 19,939,466円	市民の体育及びスポーツの振興を理念にする公益財団法人であることを念頭に、できるだけ安価で充実した内容の自主事業を開催した。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
その他業務	職員研修	管理運営に必要な研修業務の実施	① 6月に大阪府税務所で納税に関する説明を受けた。 ② 8月・11月・12月に公益財団法人解散に関する手続き等について大阪府総務部法務課公益法人グループ・大阪法務局・門真税務署で公益財団法人の解散手続き等に関する相談・説明を受けた。	①公益財団法人解散に関する手続き等についての知識の習得 ②毎月の職員会議の実施 ③日誌、日報の回覧による情報共有
	個人情報保護	業務に関連して取得した個人情報に関する情報を適切に取り扱うこと	個人情報保護条例を遵守するだけでなく、事業団独自に個人情報保護方針並びに保護規程を作成、これらにより個人情報の適正な管理を行った。 参考資料⑥(15ページ)「個人情報保護方針」及び⑦(16～19ページ)「個人情報保護規程」参照	個人情報保護に万全を期すことができた。
	情報公開	管理運営に係る情報の公開に関し、守口市の取扱いに準じて必要な措置を講じる	事業団独自に情報公開規程を作成し、適正な措置を講じた。 参考資料⑧(20・21ページ)「情報公開規程」参照	市条例等や事業団情報公開規程を遵守することができた。
	事故等への対応	(1)あらゆる緊急事態、不測の事態には適切な措置を講じ、関係機関への連絡を行う (2)危機管理体制の構築及び対応マニュアルの作成、災害時対応訓練の実施	さまざまな事例に対応できるよう、緊急連絡網及び対応マニュアルを作成、また有事に備え年2回の消防訓練を実施。 参考資料⑨(22ページ)「緊急非常時連絡網」及び⑩(23～32ページ)「危機・安全管理マニュアル」参照	本年度は大きな事故等の発生はなかった。 今後も職員の啓発、訓練などにより素早い対応や事故防止に努める。

事業達成度評価 コメント	事業達成度評価
平成30年6月18日に発生した大阪府北部地震により各室が甚大な被害を受け、改修工事、修繕等で最長2ヶ月半もの間休室を余儀なくされた。これにより自主事業においては当初計画していた参加者・参加料が激減、加えて貸館業務も停止するなど、利用料金収入も減収となった。ホームページや関連サイトを利用したPRやSNS(フェイスブック、ツイッター)等に加えダイレクトメールの発送や電話での勧誘等で回復を図ったが至らなかった。 体育館の維持管理業務においては、条例及び規則等を遵守しながら、可能な限り業務委託を減らせるよう樹木剪定や軽微な修繕等は職員において実施し、電球のLED化を推進するなど経費の削減を行い、適切な維持管理業務を遂行した。 加えて守口市からの受託事業である介護予防運動教室並びに淀川河川敷運動広場の管理運営についても問題なく遂行できたと考える。 最後に当事業団は平成30年度をもってその役目を終えることとなったが、設立より34年あり、この間の守口市市民体育館利用者は577万人を超え、その設立趣旨である市民の体育スポーツの振興を図ることで、市民の体力向上と健康の増進に資するとともに、潤いのある地域社会の形成に寄与するという設立趣旨に沿い事業の展開等を実施、微力ながらも市政の一端を担ってきたと自負するものである。	B

2 施設のサービス水準

(2) 利用者満足度の分析・評価

利用者アンケート調査の結果(参考資料⑪(33・34ページ)「利用者アンケート」及び「結果」参照)

項目	実施結果等			分析
実施方法・回答者数	実施方法:直接配布及び回収 配布数:1,927 回答者数:1,171			
施設の清潔さについて	評価	今回	前回	
	満足	35%	22%	清潔さを高め、これを維持していくよう、館内外の清掃を行ってきた。
	やや満足	27%	21%	
	普通	32%	42%	
	やや不満	4%	6%	
	不満	1%	1%	
施設の快適性について	満足	24%	20%	施設・備品の老朽化に対する意見が増えてきたため、可能な限り対応に努めた。
	やや満足	25%	27%	
	普通	46%	42%	
	やや不満	4%	3%	
	不満	1%	1%	
職員について	満足	34%	26%	市民とのふれあいを大切にしてきたことで、おおむね高評価をいただいた。
	やや満足	30%	24%	
	普通	31%	38%	
	やや不満	5%	2%	
	不満	1%	1%	
利用料金・利用時間について	満足	24%	24%	おおむね満足されている方が多いと考える。
	やや満足	28%	20%	
	普通	34%	37%	
	やや不満	5%	8%	
	不満	5%	3%	

市民からの意見・要望等

主な意見・要望等	対応状況等
利用者からのご意見・ご希望に対しては可能な限り、迅速に対応した。 参考資料⑫(35・36ページ)「ご意見・ご希望&回答」参照	

利用者満足度評価コメント
地震等の天災で休室するなど想定外の事例が多かったが、運営努力の結果、各項目において大多数の方が「普通」以上とおおむね高評価をいただいた。

2 施設のサービス水準

(2) 収支状況の分析・評価

【収入の部】

大項目	小項目	予算額	実績額	実績－予算	備考
委託料	指定管理料	27,500,000	27,500,000	0	守口市からの指定管理料
	修繕料	4,000,000	4,000,000	0	守口市からの修繕料
利用料金等	施設利用料	28,000,000	26,916,413	-1,083,587	守口市民体育館貸館利用料
	雑入	997,000	997,000	0	管理料補填金
収入合計		60,497,000	59,413,413	-1,083,587	

【支出の部】

大項目	小項目	予算額	実績額	予算－実績	備考
人件費	給与費	28,761,000	31,506,065	-2,745,065	職員給与
	福利厚生費	4,939,000	5,062,234	-123,234	社会保険料等
	賃金等	1,013,000	1,129,072	-116,072	臨時職員賃金
事務費	印刷費	1,000	0	1,000	
	通信費	182,000	227,266	-45,266	電話・郵便料
	保険料	200,000	163,130	36,870	施設賠償責任保険
	事務用品費	560,000	576,609	-16,609	電球等消耗品
	賃借料	49,000	45,980	3,020	コピー機他賃借料
管理費	業務委託費	18,882,000	18,555,395	326,605	清掃・警備業務等
	光熱水費	17,068,000	16,776,146	291,854	電気・ガス・水道料
	修繕費	4,000,000	4,048,596	-48,596	施設・設備・備品修繕
	諸使用料	14,000	13,990	10	テレビ受信料
	雑費	2,000	0	2,000	
物件費	備品購入費	0	0	0	
公租公課	租税公課	2,547,000	1,652,500	894,500	収入印紙・消費税
支出合計		78,218,000	79,756,983	-1,538,983	

収支(実績ベース)

59,413,413	－	79,756,983	＝	-20,343,570
------------	---	------------	---	-------------

収支状況 コメント

収入については、大阪府北部地震や度重なる台風により休館・休室を余儀なくされ当初予算に比較して大幅な減収となった。

支出については、事業団解散に関して人件費が増えたものの休館・休室で未使用の光熱水費等の不用額と電気料金の契約金額の値下げ交渉に成功、加えて「できることは職員で」をモットーに剪定作業や施設・備品の軽微な修繕等を職員で実施することで、業務委託費の削減を図り、支出を抑制することができた。